

短期大学 2012年度センター試験 地歴・公民、理科で第1解答科目の成績を利用する大学

2011年1月5日現在判明分

【一覧表の見方】

表は、2012年度センター試験において、「理科」「地歴」「公民」を1科目課す場合、2科目受験者の成績利用方法において「第1解答科目」の成績を利用する短期大学をまとめたものです。

【解説】

2012年度センター試験より、「理科」「地歴」「公民」の試験実施方法が変更になります。2科目受験者については、2科目を120分で解答することとなります。ただし、新しい実施方法では1科目を120分使って解答することも不可能ではありません。

そこで、このようなケースを防ぐための措置として、大学入試センターから2科目受験者については「第1解答科目の成績を利用」するよう各大学へ要請されました。なお、最終的な成績利用方法はあくまでも各大学の判断に委ねられています。

よって、「理科」「地歴と公民」の成績利用方法は、これまで通りの「高得点科目を利用する」のほか、「第1解答科目を利用する」の2通りが考えられます。本表では各短大の成績利用方法についてまとめました。

なお、既に「高得点科目を利用する」と発表している短大においても、大学入試センターの要請に伴い変更される可能性がありますのでご注意ください。

短大名	理科	地歴と公民	備考
宇都宮短大	○	○	
女子美術大短大部	○	○	
東京家政大短大部	○	○	
昭和音楽大短大部	○	○※	「地歴2科目」「公民2科目」受験の場合、第1解答科目を採用
富山短大	○	○	
金沢学院短大	○※	○※	ライフデザイン学科：英・国未受験の場合に限り、地公の2科目利用を認める 食物栄養学科：英・国未受験の場合に限り、理の2科目利用を認める
小松短大	※	—	理2科目受験時は2科目の平均点を使用
仁愛女子短大	○	○	
山梨学院短大	○	○	
長野県短大	○	○	
岐阜市立女子短大	○	○	
名古屋短大	○	○	
三重短大	○	○	
京都文教短大	○	○	
島根県立大短大部	○	○	
四国大短大部	○	○	
徳島文理大短大部	○	○	
西南女学院大短大部	○	○	
福岡女子短大	○	—	
鹿児島県立短大	○	○	